



市民公開講座

『ユマニチュード®が目指す、 良い生活の場の実現』

参加
無料



日程 2026年 10月16日 (金) 13:00 ~ 16:30

会場 福岡市男女共同参画推進センター アミカスホール
(福岡県福岡市南区高宮3丁目3-1 4階)

申込期間 2026年 9月1日 (火) ~ 10月13日 (火)

※定員になり次第 締め切り



基調講演

『ユマニチュード施設認証制度の理念と実践』

ロゼット・マレスコッティ
(ジネスト・マレスコッティ研究所 共同代表)

シンポジウム

『ユマニチュードの実践』



ロゼット・マレスコッティ
(ジネスト・マレスコッティ研究所 共同代表)

ヨーロッパ、北米、アジアへと広がるケア技法「ユマニチュード」を、イヴ・ジネストとともに考案。47年にわたり「良いケアの場」の実現に取り組んできた経験をもとに、ケアに必要な哲学と技術、そしてユマニチュードが切り拓く未来を展望します。



松田 広子 (映画『急に具合が悪くなる』プロデューサー)

第79回カンヌ国際映画祭最優秀女優賞受賞作『急に具合が悪くなる』の企画・プロデューサー。本作で描かれた、主人公が「理想の介護空間」の実現を目指してユマニチュードに取り組み奮闘する物語は、どのような思いから生まれたのか。作品制作の舞台裏と、映画に込めたメッセージを紹介します。



田中 とも江 (ユマニチュード認証施設ケアホーム西大井こうほうえん 施設長)

著書『縛らない看護』(医学書院、1999年)で、患者の権利擁護の重要性を日本でいち早く提唱した看護師。現在施設長を務める「ケアホーム西大井こうほうえん」はユマニチュード・ブロンズ認証を取得しています。映画で描かれた「理想の介護空間」を現実のケアの場でどのように実現してきたのか、その歩みと実践を紹介します。



金沢 小百合 (ユマニチュード・認定チーフインストラクター)

看護師としてユマニチュードを実践した経験を礎に指導者へと歩みを進め、現在はチーフインストラクターとして全国で人材育成に携わっています。「良いケアの実践者」を育て、「良いケアの場」を育むために必要な考え方と実践、人材育成の鍵をお伝えします。

定員 300名

申込方法 申込期間になりましたら、下記ウェブサイトからお申込みください。

<https://jhuma.org/shiminkouza2026/>

(ウェブでのお申し込みが難しい場合、下記お問い合わせ先にご連絡ください。)

お問い合わせ

一般社団法人 日本ユマニチュード学会

メール: info@jhuma.org 電話: 03-6555-2357 (申込期間の平日9~17時)

共催

公益財団法人 生存科学研究所、福岡市



※本講座は無料でご参加いただけますが、事前の参加申込みが必要です。